

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

心理学プログラム

（博士課程前期）

心理学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、「修士（心理学）」の学位を授与する。

- （1）認知・生理，社会，教育・学習，発達・幼児，臨床等の心理学各領域の多様な視点から人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる高度な能力を有している。
- （2）現代社会における人間の「こころ」に関する課題を認識し，それらを解決するための資質を有している。
- （3）幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。
- （4）未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。
- （5）多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。
- （6）修士学位取得者としての使命を自覚し，高い倫理観を有している。

（博士課程後期）

心理学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、「博士（心理学）」の学位を授与する。

- （1）認知・生理，社会，教育・学習，発達・幼児，臨床等の心理学各領域の多様な視点から人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる卓越した能力を有している。
- （2）現代社会における人間の「こころ」に関する課題を強く認識し，それらを解決するための資質を十分に有している。
- （3）幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。
- （4）未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。
- （5）多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。
- （6）博士学位取得者としての使命を自覚し，極めて高い倫理観を有している。